

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 明輝会	代表者	川上 秀一	法人・ 事業所 の特徴	・サービスを柔軟に組み合わせる事で、在宅での生活が継続できるように可能な限り応えている。また医療機関、各関連事業所との連携を図る事で、安心して在宅生活を送れるよう取り組んでいる。 ・本人様の「～したい。」という思いを実現できるように日々取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム ひばり	管理者	桝 久美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	2人	人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ノート」をうまく活用できるように、「本人様が話した事を付箋で良いので、貼って下さい。」等、記入する事が負担に感じられないよう表紙を工夫する。</li> <li>・記入した事を勉強会等を利用して、みんなで共有できるようにする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境				<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議をひばりの建物の中で開催するなど計画し、ひばりに入って頂く機会を増やしていく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり				<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から、近隣の掃除をひばりを知って頂く為、また地域でのひばりでの役割と考え、時間を決めて行っているが、まだまだ近隣の方に知られていない現状もある。星空にお住まいでの近隣の掃除や散歩を日課とされ、近隣の方との交流を図っている方がいらっしゃる。その方の掃除や散歩に週に一回、同行させ</li> </ul>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 明輝会	代表者	川上 秀一	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを柔軟に組み合わせる事で、在宅での生活が継続できるように可能な限り応えている。また医療機関、各関連事業所との連携を図る事で、安心して在宅生活を送れるように取り組んでいる。</li> <li>・本人様の「～したい。」という思いを実現できるように日々取り組んでいる。</li> </ul>				
事業所名	小規模多機能ホーム ひばり	管理者	桙 久美						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	2人	人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目によっては、もっと具体的になるのではないかと思われるものもあったが、初めての取り組みなので、これで一年取り組んでみてまた一緒に考えていけたら良いですね。</li> <li>・「ノート」の活用で、いろんな事にも活かせると思いますが、記入することが職員の負担にならないように、記入方法の決まり事を表紙に書いておいて、書きやすくなるのでは？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ノート」をうまく活用できるように、「本人様が話した事を付箋で良いので、貼って下さい。」等、記入する事が負担に感じられないよう表紙を工夫する。</li> <li>・記入した事を勉強会等を利用して、みんなで共有できるようにする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に入った事がないので、わからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議をひばりの建物の中で開催するなど計画し、ひばりに入って頂く機会を増やしていく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の法人の広報として考えると、本部の職員が町内会等に一度きちんと出席してみるのはどうだろうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から、近隣の掃除をひばりを知って頂く為、また地域でのひばりでの役割と考え、時間を決めて行っているが、まだまだ近隣の方に知られていない現状もある。星空</li> </ul>

				にお住まいでの近隣の掃除や散歩を日課とされ、近隣の方との交流を図っている方がいらっしゃる。その方の掃除や散歩に週に一回、同行させて頂く事から始めてみる。同行の際に会った方、話した内容、掃除の状況など今まで通りに記入する。みんなで共有できるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方達からの事例がせっかくあるなら、記録に残しておくと、相談を受けていますという証になるのではないかですか。それは相談だけではなく、話した内容も書いておくと良いと思います。また事例を運営推進会議の場で報告しても・いいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談内容や話した内容をきちんと記録に残すようにする。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> <li>会議の度に色々な意見が出ているが、その意見に対して、取り組んだかどうか、またその結果を教えてもらう事がない。口頭での報告で改善しているとニュアンスで感じる事もあるが、改めて文章で教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出た意見で、取り組んだ結果を文章にして会議でお伝えする。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> <li>夜の職員が一人で災害時、どうするのか？頼りになるのは近隣の方たちではないか。常日頃の関わりが今後もっと必要になるのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近所の方へ、ひばりの建物の見学外を今一度開催する。</li> <li>必要物品の場所を誰がみてもすぐに分かるように表示する。</li> </ul>

か？  
・近所の方に防災訓練の参加はこれからもお願いしていった方が良い。そしてどこに何があるか、消火器等を誰が見ても分かるように表示してほしい。

・近隣の方と一緒に防災訓練の計画、実施を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 28年1月 13日 (18:30 ~20:30 )
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー 森山・中村・岩元・小島・淵上・大久保・松田・柚留木・椿管理者・東・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	5	1	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか?	1	10	4	1	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	1	12	3		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		9	6	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること サマリー等で事前に情報を得られるようにしている。利用前にはどんなサービスを希望されているのかを聞き取りを行い、本当に必要かどうかを検討している。又、利用に慣れていない時期には、職員からの声掛けを多く行い、訪問は、固定の職員(数人)が関わりをもつように配慮している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々のケアで忙しく、ミーティング等で情報を共有する事が出来ていない。サービス内容については、初期という事もあり、本心・本音の部分なのかどうかもよくわからないまま支援に入っています。家族ともサービスが始まってしまうと、別居の場合特になかなか会う機会が少なく、信頼関係をつくっていくのが難しく、本人様へも上辺だけの言葉かけになってしまって充分でないと感じている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用開始前の相談があった時点で、ケアマネージャー以外の担当者を決める。利用前の訪問など担当者と一緒にになって行い、本人様・家族の困りごとや希望するサービスの意向を確認する。また、利用開始から、暫くは自宅での様子、ひばりでの様子を家族へ報告する。送迎時に会う機会がある家族へは挨拶を行い、必要時にまめに報告する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 1月13日 (18:30 ~20:30 )
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	森山・中村・岩元・小島・淵上・大久保・松田・ 柚留木・椿管理者・東・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3	8	5	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		4	7	5	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？		3	7	6	16
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		1	8	7	16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

「～したい」と言葉に出してくれる方が数名いらっしゃるが、思いを叶える為にどうしたら良いか考えて出来る範囲でおこなっている状態である。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

おひとりお一人の思い・目標を職員がうまく引き出せずわかっていない。漠然としている。声を出される方がどうしても優先されてしまい、言葉にだされない方の思いを知ろうしていない。職員個人が知り得た情報の大切さを良く分からずに、共有しようとしていない。共有する場所・手段の理解が個々人バラバラになってしまっている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

以前から登録されている方、新しい方、すべての方に対して「思い・目標」についてアンケート・直接聞き取りを実施する。また知り得た情報を職員が共有できるように、「ノート」を作り、書き込み（付箋や箇条書き）を行う。その方の必要な時期（思いに期間があるとき・体調の気分の変化時等）を職員みんなで、見極め含め思いをかなえる為にミーティングを開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 28年1月 13日 ( 18:30 ~ 20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー 森山・中村・岩元・小島・淵上・大久保・松田・柚留木・椿管理者・東・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	6	8	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	13	1		16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならならない声をチームで言語化できていますか?		3	8	5	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3				16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	9		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 食事・入浴・排泄等の基礎的な介護はできていると思っている。体調の変化にも気づけている職員も多い
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らしについて、本人様から聞くことができなかつたり、家族も知っている方が少ないこともあります、なかなか10個以上把握できていない。毎日が忙しく、なかなかミーティングの開催ができていない。またせっかく体調の変化に気付ける職員がいても、記録に落としていなかつたりと、職員間で共有するまでに至っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日常生活の支援についても、項目2で作るノートを活用する。付箋や箇条書き等で書き込む事で、職員の負担にならないように工夫する。また、以前の暮らしを知っておられる方(友人・兄弟・近所の方等)がおられないか、家族へ再度聞き取りをさせて頂き、その方に本人様も一緒に面会に行かせて頂く。その中で教えて頂いた事もノートに必ず書き込むようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 1 月 13 日 ( 18:30 ~ 20:30 )
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	森山・中村・岩元・小島・淵上・大久保・松田・ 柚留木・椿管理者・東・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	10	3	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	9	3	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	9	2	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			3	13	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  わずかではあるが、なんとなく生活スタイル・人間関係等を知っている方もいる。担当の民生委員に挨拶に伺った方もいる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  利用者の日々のお世話をさせて頂く事が中心となってしまい、その方自信の生活や地域との関係等に目を向ける事が難しい。又新しい方が最近多く、地域まで目が回らない。民生委員は必要な方のみ分かっているが、その方以外の方については、担当者の名前さえ知らない方もいる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)  最近利用開始された方の家族から了解を頂いたうえで、その方の地域を回ってみる。その方の地域資源マップを作っていく。また本人様と家族との関係が切れないように、家族会を定期的に開催できるように計画していく。職員も交代で家族会に参加できるように工夫していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式
------------------

実施日	平成 28年 1月 20日( 19:00 ~ 20:30 )
-----	--------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援
----------------

メンバー	沖・岩元・袖留木・大久保・淵上・行徳・松田・中村・宮本・森山・椿管理者・久木田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	7	3	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	7	1	2	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	7	4	2	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	2	8	3	3	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  急なサービス内容変更にも、どうしても必要かを検討した上で、できる限り受けるようにしている。本人様の変化に気付く事が出来る職員も多い。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  地域の資源で知らない事も多い為に、事業所以外の資源を利用することができない。本人様の変化に気付く職員も多いが、忙しい為に記録をとる事を後回しにしてしまい、結果忘れてしまう事もある。また記録に目を通さずにケアに入ってしまう事もあり、職員間での共有が難しい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)  対機能性のある柔軟な支援についても、項目2で作るノートを活用する。本人様・家族の言葉をそのまま付箋や箇条書きにする。ノートの見直しは、現状の勉強会にて行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 1 月 20 日 ( 19:00 ~ 20:30 )
6. 連携・協働	メンバー	沖・岩元・袖留木・大久保・淵上・行徳・松田・中村・宮本・森山・椿管理者・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	2	11	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	2	12	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	4	11	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	10	2	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ひばりの近隣の子供達はトイレを借りにきたり、遊びに来たりしてくれている。行事の際にも参加してくれる。ひばりの地域との関わりの中で、近隣の道路のゴミ拾いを3年以上続けてしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

業務に日々追われたり、各サービス機関との日程の都合がつかなかつたりで会議がなかなかできていない。地域の行事も日々忙しく、ゆとりがなく、知ろうとする事が少ない。地域の話し合い等にも参加するには、勤務の都合上ボランティア扱いになってしまふ為に、現状では管理者頼みになってしまっている現状もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

定期的に開催される運営推進会議には現在は管理者とCMで参加しているが、今後他の職員も交代で数名づつは参加してもらう。各サービス機関との話し合いは、利用者の更新月には必ず開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 1月 20日 ( 19:00 ~ 20:30 )
7. 運営	メンバー	沖・岩元・柚留木・大久保・淵上・行徳・松田・中村・宮本・森山・椿管理者・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		5	5	6	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	1	2	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		11	3	2	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	17	4	4	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
色々な方からの苦情の共有はできている。また運営に反映できていると思っている。 地域の掃除をしていると、「いつもすみませんね。」と、一緒に下さる方もいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営という点では、自分達職員には口を出せないところではないかと思っている。口にしていいのかどうかも分からず。思った事があっても、それをどうしたら良いのか、伝える場所もなくあきらめてしまう事も多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営というと難しい項目ではあるが、利用者一人一人を支える視点に立つ為に、まずは勉強会や話し合いの場面で、職員みんなが発言できるようになる。職員によっては人の前で意見を言う事を恥ずかしいと感じている職員もいるために、司会をしている職員が発言を促せるように配慮する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 1月 20日( 19:00 ~ 20:30 )
8. 質を向上するための取組み	メンバー	沖・岩元・柚留木・大久保・淵上・行徳・松田・中村・宮本・森山・樺管理者・久木田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	8	3	4	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できますか		5	7	4	16
③	地域連絡会に参加していますか	1			15	16
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	8	3	3	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内外共に、勉強する機会は多くある。自分の興味のある物に参加できる環境にある。リスクマネジメントについては、リスク委員会を中心に定期的に勉強する機会があり、職員の意識は高いと思っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職場外の研修には、自分の休みを使って参加する事もある。参加する職員が決まってきているところもある。また誰がどんな研修に参加しているのか把握できていない。  
地域連絡会については、開催されているのかどうかも良く分からぬ職員が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職場外の研修については、だれがどの研修に参加しているかが分かるように、表を作る。みんなが同じように参加できる様にする。

事業所自己評価・ミーティング様式
------------------

実施日	平成 28 年 1 月 20 日 ( 19:00 ~ 20:30 )
-----	------------------------------------

9. 人権・プライバシー
--------------

メンバー	沖・岩元・柚留木・大久保・淵上・行徳・松田・中村・宮本・森山・梅管理者・久木田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	3		1	16
②	虐待は行われていない	8	6	1	1	16
③	プライバシーが守られている	6	7	2	1	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	1	3	7	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7	2	2	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体への拘束や虐待はないと思っている。リスク委員の勉強会も定期的に開催される為に、職員全員がしないという事に対して意識が高い。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自分が気付いていないだけで、もしかしたら他者がみたら虐待かもしれないという不安がある。成年後見制度は活用された方がいいな感じる方もいるが、活用には金銭的な事もあり踏み出せていない。個人情報の管理という点においても、完全であるか自信がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員間において、利用者への態度でおかしいと感じた時には、お互いで話しができるようになる。「どうしたの?今日は体がきつい?何かあったの?」等、伝えやすい言葉を選ぶ、まずは声を職員間でかけるようにする。	